

なみえの未来をともにつくります

 なみえ

議会だより

2009.6.1

No. 124



山崎	若月	横山	田尻	泉田	三瓶	小黒	吉田	鈴木	橋爪	渡邊	佐藤	渡部	愛澤	勝山	山本	馬場	佐々木	佐々木	紺野	◆
博文	芳則	精一	良作	重章	宝次	敬三	数博	辰行	光雄	文星	文子	貞信	格	一美	一郎	績	木恵寿	英夫	榮重	向って右から

決意も新たに
町民目線の議会をめざして

3月定例会

3月定例議会……………P 2～6	新たな議会構成……………P 12～13
1月・2月・5月臨時議会…P 7	5月議会議案採択状況…P 14
3月議会議案採択状況……P 8	シリーズ知ってますか
一般質問……………P 9～11	議会のしくみ……………P 15
	町民の声・編集後記……P 16

平成21年度

予算総額120億円を議決

一般会計

69億4300万円
0.6%減

地方交付税

23億6300万円
2.6%増

◆ 要 旨 ◆

- 平成21年第3回浪江町議会定例会が3月5日から17日までの13日間の会期で開催され、一般質問は4人が登壇して活発な質疑が交わされました。

- 今議会に提案された議案は、町道路線の認定及び廃止、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更、平成21年度浪江町一般会計予算など34の議案、議員発議による意見書3件、決議書1件が提案され、原案どおり可決しました。

- 陳情では、陳情書3件（採択）を審議しました。



体育館の耐震化で児童の安全を

条例制定

浪江町放課後児童健全育成事業負担金徴収条例の制定

放課後児童クラブの制度の成熟に伴う保護者の費用負担金及びその免除について明確に規定するためのものです。

内容は、次のとおりです。

- ・小学1年生から3年生までの登録児童は、1人につき月額2,000円
- ・その他の登録児童は、1人につき月額3,000円

*児童クラブを利用しなかった月の負担金は、徴収しません。

*規則の定めるところにより、負担金の免除もあります。



利用者が増加している児童クラブ



町民の意見を町政に

条例改正

特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

今までであった総合審議会委員・共生型地域づくり検討委員会委員に新たに町民協働のまちづくり協議会委員を追加するものです。

町長給料の50%カット、副町長・教育長は30%カット

平成21年4月1日から1年間、町長、副町長および教育長の給料減額を延長するものです。条例は1年間の時限条例となっていますが、町長の任期中は特例期間を更新して減額する予定となっています。



一般会計

Q 税収減に伴う財源確保策は

A 国の特別枠の地方交付税等の増額で対応します。

質問 町民税で約2億円の税収減になっているが、財源確保策は

質問 減収補填債の発行の考えは

質問 町民税で約2億円の税収減になっているが、財源確保策は

総務課長 地方交付税と臨時財政対策債の増額で対応します。

総務課長 現時点では考えておりませんが、新たな事業ができれば考えます。

Q 延長保育の事業概要は

A コスモス保育園等の一時保育・延長保育です。

質問 町立幼稚園における延長保育の考えは

教育総務課長 私立幼稚園との競合もありますので、当面は3時から3時30分までの時間延長を段階的に実施する考えです。



延長保育で子育て支援

Q 体育館建設の進捗状況は

A 財源確保の関係で一年先送りになります。

質問 今年度の予算に含まれていないが、今後の見通しは

生涯学習課長 県の事業補助金の配分の見直しで、22年度からの取り組みになります。

Q 町民協働のまちづくり事業の内容は

A 地域創出・地域活動の推進を目指す事業です。

質問 協議会の設置が予定されているが、内容は

質問 支援助成金180万円の内容は

総務課長 協議会の委員は12名で構成し、住民自治基本条例の策定を目指します。

総務課長 町民協働の事業、まちづくり事業及び公共事業が対象となり、1件20万円を上限とするものです。

Q 納税組合の現状は

A 納税組合は個人情報保護の問題もあり、激減している状況です。

質問 今後の収納率向上対策は

税務課長 今後は嘱託員による徴収、納税相談、臨戸徴収を強化するなど効果的な対策を考えます。

補正予算

定額給付金支給に伴ってのプレミアム商品券発行について

質問 プレミアムに伴う補助の財源は、一般財源か。事業展開にあたり経済効果ばかりでなく、地域振興につながるような町の考えはあるか。

産業振興課長 財源は一般財源です。地域振興につながるプラスアルファの効果は、加盟店での企画等に期待しています。

町長 一般財源が厳しいので、商工会との話し合いで町が7割・商工会が3割となりました。また、商店街でも商品券を上手く使っていただくようなアイデアがあると聞いています。今後色々な企画が各商店から出てくることを期待しています。



好評だったプレミアム商品券



子ども達に使われている文化スポーツ振興基金

特別会計

文化スポーツ振興基金がこのままでは底をついてしまうが

質問 基金に対する寄付金がほとんどなく、いざれ底をついてしまうのが目に見えるが、町民が御遺志

金のように慣習的に寄付してくれるような方法はないか。

生涯学習課長 当初は、結婚式の際に寄付を仰ぎ原資を作っておりましたが、このままでは助成事業が出来なくなってしまうので広報・PRをして寄付金を募っていきたいと思います。

自治功勞表彰

三瓶 宝次議員
勝山 一美議員

永年（15年以上在職）町村議会議員として、地方自治の振興発展に寄与された功績により、三瓶宝次議員及び勝山一美議員が全国町村議会議長会から表彰され、3月5日に開催された第3回定例会冒頭に議長から伝達されました。



浪江町議員定数調査特別委員会調査報告

合意を得ることが困難であった

特別委員会では、次のとおり取りまとめ議長に報告しました。

定数問題については、議会の根幹に触れる重要事項であり、議員相互の合意形成に向け、県内市町村の状況等と比較検討しながら議論を重ねてきたが、定数問題について合意を得ることが困難であった。

主な意見を記載します。

○定数を削減すべきとするもの

- ①平成20年6月議会に陳情を受け、採択をした重みを議会として認識すべきである。
- ②時代の流れや民意を反映し、厳しい町財政等を考慮し、県内町村との比較においても議会自ら定数を削減すべきである。

○現状を維持すべきとするもの

- ①地方分権の下で、議会の責任と役割は益々重くなっており、削減をすれば多様な民意の反映が損なわれる。
- ②当町においては、人口、面積、議会費等において県内・郡内町との比較においても定数が多いとは言えない。また前回の選挙において2名の定数削減をしており、その検証がなされている最中である。

皆さんから 提出された 陳情

〔採択された陳情〕

○現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書

〔陳情者〕

福島県保育連絡会世話人
代表者 大宮 勇雄

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

〔陳情者〕

日本労働組合総連合会福島県連合会双葉地区連合会
議長 木田 正一

○緊急雇用対策及び労働法制の改正を求める意見書提出の陳情について

〔陳情者〕

日本労働組合総連合会福島県連合会双葉地区連合会
議長 木田 正一

議員発議の 意見書・決議書

○現行保育制度の堅持・

拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
総務大臣
衆議院議長
参議院議長

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

〔提出先〕

福島労働局長

○緊急雇用対策及び労働法制の改正を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
厚生労働大臣
衆議院議長
参議院議長

同意した 人事案件

○固定資産評価員の選任について

固定資産評価員の選任について、原案どおり全会一致で同意しました。



氏名 牛渡好美
住所 浪江町大字北幾世橋字大町9番地

生年月日 昭和25年3月26日

臨時議会

平成21年第1回浪江町議会臨時会が 1月27日に開催されました。

- 平成20年度浪江町一般会計補正予算(第5号)
雇用失業情勢が厳しさを増す中、緊急・臨時的な雇用対策を実施するため、659万円を補正して、臨時職員を25名程度雇用したい。雇用期間は3月末までとしたい。(全会一致で可決)
- 双葉地方広域市町村圏組合議会議員の選挙について
欠員となった議員に、指名推選により山本孝一議員が当選しました。
- 福島県立浪江高等学校津島校の存続を求める意見書
[提出先] 福島県知事 福島県教育委員会委員長
(全会一致で可決)

第1回 1月臨時会 【議決の結果】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
1	平成20年度浪江町一般会計補正予算(第5号)	21・1・27	原案可決
発議1	福島県立浪江高等学校津島校の存続を求める意見書(案)	21・1・27	原案可決

平成21年第2回浪江町議会臨時会が 2月17日に開催されました。

- 諸般の報告
議会運営委員会委員の欠員の選任について、議長指名により佐々木英夫議員を指名しました。
- 平成20年度浪江町一般会計補正予算(第6号)
「定額給付金」「子育て応援特別手当」及び地域活性化・生活対策臨時交付金等に5億299万円を補正増して、定額給付金給付事業に3億5481万円、子育て応援特別手当交付事業に1172万円、地域活性化・生活対策臨時交付金1億2479万円等であります。(全会一致で可決)

第2回 2月臨時会 【議決の結果】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
2	平成20年度浪江町一般会計補正予算(第6号)	21・2・17	原案可決

平成21年第4回浪江町議会臨時会が 5月8日に開催されました。

- 町議会議員改選後の初議会で議長・副議長の選挙、各常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任及び3つの特別委員会の設置、委員の選任並びに各委員会の委員長、副委員長の互選が行われ、新しい委員会構成が決まりました。(12・13ページに記載)
また、町長から10の議案が提出され、原案どおり承認・可決・同意しました。

【専決処分について】

- 平成20年度浪江町一般会計補正予算(第8号)
特別地方交付税等の交付金が確定したことにより、予算の整理を行ったもの。
歳入の主なものは、特別地方交付税5,281万1千円、自動車取得税交付金251万2千円増額し、配当割交付金690万円、利子割交付金430万2千円減額するものです。
歳出の主なものは、各事業費の精算のほか、財政調整基金積立金に7,000万円を増額するものです。
- 平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)
歳入では、交付決定通知により国庫支出金539万円、県支出金1,201万円を増額し、繰入金121万2千円を減額するものです。
歳出では、保険給付費342万2千円、予備費1,596万6千円を増額し、老人保健拠出金260万円、介護納付金60万円を減額するものです。
- 平成20年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第3号)
歳入では、交付決定通知により、支払基金交付金29万円、国庫支出金338万円、県支出金1万9千円を減額し、諸収入475万2千円を増額するものです。
歳出では、医療諸費29万円を減額し、諸支出金135万3千円を増額するものです。

- 平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
歳入では、交付決定通知による支払基金交付金100万6千円、県支出金24万7千円の減額です。歳出では、保険給付費1,121万7千円、地域支援事業費100万6千円を減額し、1,097万円を基金積立金とするものです。

- 平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入では、後期高齢者医療保険料144万円を減額し、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金144万円の減額です。

○浪江町税条例等の一部改正について

○浪江町国民健康保険税条例の一部改正について

【条例改正について】

○行政区長設置条例の一部改正

平成21年度より、家老行政区を大字室原行政区へ編入することについて、両行政区長からの申し出により、担当区域を変更するものです。

○浪江町税特別措置条例の一部改正について

【議決事項について】

○監査委員の選任について

議会議員の任期満了に伴い、議員から選任される監査委員については、鈴木辰行議員の選任に同意しました。

第3回(3月)定例会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
24	平成21年度浪江町一般会計予算	原案可決
23	平成20年度浪江町水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決
22	平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
21	平成20年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
20	平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
19	平成20年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
18	平成20年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
17	平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
16	平成20年度浪江町一般会計補正予算(第7号)	原案可決
15	大堀相馬焼物産会館の指定管理者の指定について	原案可決
14	マリンパークなみえの指定管理者の指定について	原案可決
13	浪江町奨学資金貸付条例の一部改正について	原案可決
12	浪江町放課後児童健全育成事業負担金徴収条例の制定について	原案可決
11	浪江町介護保険条例の一部改正について	原案可決
10	浪江町介護保険臨時特例調整基金条例の制定について	原案可決
9	浪江町家畜導入事業等資金供給事業基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決
8	浪江町個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
7	浪江町監査委員条例の一部改正について	原案可決
6	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
5	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
4	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
3	浪江町道路線の認定及び廃止について	原案可決

議案番号	件名	議決結果
25	平成21年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計予算	原案可決
26	平成21年度浪江町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
27	平成21年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計予算	原案可決
28	平成21年度浪江町老人保健特別会計予算	原案可決
29	平成21年度浪江町工業団地造成事業特別会計予算	原案可決
30	平成21年度浪江町公共下水道事業特別会計予算	原案可決
31	平成21年度浪江町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
32	平成21年度浪江町介護保険事業特別会計予算	原案可決
33	平成21年度浪江町財産区管理事業特別会計予算	原案可決
34	平成21年度浪江町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
35	平成21年度浪江町水道事業会計予算	原案可決
36	固定資産評価員の選任について	同意
報告1	平成20年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について	報告
	浪江町議会議員定数調査特別委員会調査報告	報告
陳情1	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書	採択
陳情2	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	採択
陳情3	緊急雇用対策及び労働法制の改正を求める意見書提出の陳情について	採択
発議2	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書(案)	原案可決
発議3	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(案)	原案可決
発議4	緊急雇用対策及び労働法制の改正を求める意見書(案)	原案可決
発議5	県立大野病院と双葉厚生病院の医療充実が図られない現状での統合に反対する決議(案)	原案可決

一般質問

4 議員が質問

■ 橋爪光雄議員

- (1) 企業・雇用・生活支援について
- (2) 医療保障について
- (3) 子育て支援について

■ 田尻良作議員

- (1) 農業政策について
- (2) 大柿ダム改修事業について

■ 馬場 績議員

- (1) 経済悪化とくらしの防波堤について
- (2) 立地4町のプルサーマル計画推進と原発の安全について

■ 佐々木 英夫議員

- (1) 芸術文化発展の取組みについて
- (2) 救急医療の実態について

あなたも議会を 傍聴してみませんか!!

議会構成も変わりました。町政を知るよい機会です。
6月定例会は6月11日(木)から開催されます。
議会開会中は議会中継を町のホームページからも閲覧
できます。

<http://www.town.namie.fukushima.jp>

詳しくは、議会事務局へ ☎ 34-0254

町政と 問

このページには、質問した議員の
質問事項が掲載されています。
議会だよりに掲載する一般質問
の内容は、紙面の構成上、1議員
3件までの質問、答弁をそれぞれ
550字以内に要約しております
ので、ご了承ください。



荒廃が進む桑畑



橋爪 光雄 議員

Q 「定額給付金」の経済効果は

A 1億円の「プレミアム商品券・10%のプレミアム付」を浪江町商工会が発行。経済効果を期待しています

全力で企業・雇用・生活支援を

質問

緊急保証制度の実績は、全国で23万件超、保証額は5兆2700億円を超え多くの中小企業金融の下支えを実現している。当町の金融機関の対応は、

産業振興課長 申請件数

41件、融資実行件数35件、審査中7件、融資金額6億200万円。順調に融資が進んでいます。

質問

全国で12万人以上の非正規労働者が職を失うとの報道がある。雇用をいかに創るかが最大の課題となる。雇用支援対策は、

産業振興課長 本年度の

補正予算で緊急雇用対策事業を実施しています。平成21年度は、国のふろさと雇用再生特別基金事業・

質問

緊急雇用創出基金事業等を活用して、事業を実施します。当初予算に、総事業費2447万1000円の予算化をして対策に充てます。

産業振興課長 定額給付金の支

給対象者数・支給額は。

総務課長

受給予定者18歳以下が3908人、19歳から64歳が1万2624人、65歳以上が5556人。合計2万2088人。外国人も含まれています。給付金額3億4076万8000円となります。

無保険の子どもを守れ

質問

改正国民健康保険法が昨年12月成立。滞納世帯であっても、中学生以下の子どものには短期保険証

(6ヶ月)が交付される。資格証明書交付世帯と中学生以下の子どもの数と町の対応は。

保険福祉課長

2月末現在、資格証明書発行が117世帯193人(中学生以下の子どもの数)がいる世帯10世帯・17人。短期被保険者証発行が221世帯534人(中学生以下の子どもの数)がいる世帯56世帯・104人。納付相談・戸別訪問など関係機関と連携して取り組んでいます。



田尻 良作 議員

Q コメ作り農家をどのように守るのか

A 国の制度が変われば町も見直しを図る

減反廃止の発言について

質問

国の「減反廃止」を含むコメの生産政策を町はどのように捉えるか。

町長

石破大臣の発言では、「一律減反廃止と生産調整を生産農家に委ねる選択方式も、取り入れる考え方がある」という発言で

した。基本は食料自給率の向上と米価維持の問題です。町のコメ作り農家が計画生産によるコメの需給と価格の安定に加え、将来にわたり水田農家が安定して地域農業の活性化につながる方向で検討されるべきと考えています。

耕作放棄地の解消を図れ

質問

耕作放棄地の解消取り組みについて問う。

産業振興課長

全体調査は終了しました。事務作業が未整理ですので現在作業を急いでいるところです。地域協議会等の設置や耕作放棄地解消計画の策定に向

大柵ダム改修事業計画

質問

通常賦課金に乗せ、改修費賦課金の徴収となれば農家の負担は増大になります。改修費負担金の軽減策はあるか。

町長

改修事業の説明を受け、削減されるところ

け準備を進めています。町だけの取り組みでは限界があるので農地所有者等の自発的な意思に基づく取り組みも不可欠であると考えています。

は削減して費用は抑え、農家の負担をできるだけ低減していこうという話もしました。一括払いの場合、金利分が掛からないがその原資が課題になります。できるだけ農家の負担を少なくし援助していく考えです。

『みんな笑顔に街が元気に』
「定額給付金支給 10%お徳」

「なみえ商品券」



設置が義務づけられた住宅用火災警報器



馬場 績 議員

Q 「構造改革」路線破たんの認識を問う

A 格差は生じたが、規制撤廃で効果あり

質問 「構造改革」は失敗などと現職閣僚が発言、雇用や農業、中小企業の切り捨て、地方を窮地に追いやった「三位一体改革」、庶民増税は貧困と格差を拡大した。弱肉強食の市場原理主義からルールある経済社会への転換が必要。町長の認識は。

町長 現実には地方の格差、所得の格差が生じた反面、護送船団方式を廃止したり、経済合理性が効果を発揮した部門もあります。医療、農業、環境、中小企業、技術開発等、内需拡大が大切と考えております。

緊急経済対策と地域の活性化の提案

質問 暮らしと雇用破壊が予想を超えて町民に押し寄せてきている。内需を基調とした地域の経済発展にどう切り替えるのか。

3つの提案をする。1つは、プレミアム商品券の発行。2つは、津島地区のブロードバンド工事の支援と推進。3つは、設置が義務づけられた火災警報器の高齢者世帯助成、財源は地域活性化生活対策臨時交付金の活用です。

産業振興課長 ①プレミアム商品券の発行を予定している町商工会に735万円を助成、販売総額は1億円の前定です。

企画調整課長 ②契約人数の把握と地域住民の負担が少ない手法を事業者と検討協議しているところで。

住民生活課長 ③設置しやすい環境づくりが必要と考えています。



佐々木英夫 議員

Q 芸術文化発展の取組みについて

A 施設面では十分でないが、文化芸術活動の内容、成果等は優れている。そういった面で全体的な底上げを図ってほしい。

質問 芸術文化の底上げは何を持って取り組むか。また、それを支援することについて町の考え方は。

しております。また、文化スポーツ振興支援助成事業を活用し支援してまいりたいと考えております。

生涯学習課長 美術展や芸術祭等を開催し、芸術文化の交流の場を提供し、住民の文化意識の高揚を図つ

は。

教育長 施設の面では十分とは言えませんが、町民の文化芸術活動の内容の活発さと豊かさ、更には、具体的な成果に着目すれば優

救急医療について

質問 夜間救急受入れはスムーズか。

れていきます。そういった面で全体的な底上げを図っていく方策を検討していきたいと考えています。

子育て・健康増進課長

平成20年度中全体で534件あり、浪江町は366件になっています。受付医療機関は、双葉郡内に247件、相馬地区に234件、いわき地区に21件です。浪江町では、双葉郡内に161件、相馬地区に186件、いわき地区11件、その他の地区8件となっております。郡内よりも相馬地区への搬送が多いのが現状です。



搬送が増加する救急業務

初議会議会構成決まる

議長に吉田数博氏、副議長に橋爪光雄氏

町議会議員改選後 はじめての議会が5月8日に開催され、正副議長をはじめ、3つの常任委員会の委員、議会運営委員会委員及び特別委員会委員等の構成が決まりました。

議長あいさつ

吉田数博



町議会議員改選後の初議会において議長に選任をいただきまして。もちろん、浅学非才を省みずの就任でありますので、甚だ不安ではあります。民意を反映させ、町民福祉の向上を図るといふ議会の役割を十分理解し、努力を重ね町政発展に寄与したいと存じます。

私は、日頃から、議会議員の言動は「誠心誠意」条理を尽くし、正義感、責任感を持って誠実に行動すること。公平・公正な立場を貫き、温かみのある政治に努めることこそが肝要と考えております。議長就任に当たっても同様であり、町民目線を基本に努めてまいります。

今、当町は、課題山積であります。また、行財政改革も大変重要な課題であり、議会においても然りであります。早急に、議会改革に取り組みが必要であり、議会はどうあるべきかを明記した「議会基本条例」を制定すべきであると考えております。そのために、議会改革特別委員会を立ち上げ、諸課題の調査、検討をする必要があると考えております。町民が誰でも等しく豊かで、安全・安心に暮らせるまちづくりを目指し、議会の責任を果たしてまいります。町民の皆様方の議会に対する、叱咤激励をお願い申し上げます。

副議長あいさつ

橋爪光雄



目に青葉、風もさわやかな季節になりました。

世界同時不況で、浪江町は厳しい行財政運営を強いられています。皆様から付託を受けました議員の責任の重大さを痛感しております。「町民の皆様の声を大切に」皆様の代表として議論をし、知恵を出し合い工夫して議会の機能を発揮し、限られた予算が有効に配分・活用されるようムダ・ゼロを推進し、行財政改革に取り組んでまいります。皆様と行政の確かなパイプ役として「生活・安全・安心を育む浪江町」づくりに全力で働かせていただく覚悟です。議員の皆様と共に、議長を補佐し、議会運営を円滑に進めてまいり所存です。今まで以上に議会に対しご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会

委員長	鈴木辰行
副委員長	渡部貞信
委員	渡邊文星
	泉田重章
	田尻良作
	佐々木英夫

※会期、議事日程など議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項等を審議します。

総務常任委員会

委員長	佐々木英夫
副委員長	愛澤格
委員	吉田数博
	横山精一
	渡部貞信
	小黒敬三

事務調査事項

総務課、企画調整課、税務課、住民生活課、出納室の事務のほか、他の委員会に属さない事務の調査を行います。



産業・建設常任委員会

委員長 渡邊文星
副委員長 若月芳則
委員 橋爪光雄
鈴木辰行
佐々木恵寿
勝山一美
三瓶宝次

事務調査事項

産業振興課、建設課、上下水道課及び農業委員会に関する事務の調査を行います。



文教・厚生常任委員会

委員長 田尻良作
副委員長 山崎博文
委員 山本幸一郎
泉田重章
佐藤文子
紺野榮重
馬場績

事務調査事項

教育委員会、保健福祉課、子育て・健康増進課に関する事務の調査を行います。



議会報編集特別委員会

委員長 佐藤文子
副委員長 愛澤格
委員 山崎博文
若月芳則
橋爪光雄
小黒敬三

※年4回の議会だよりを発行します。

地域共生型電源開発特別委員会

委員長 渡部貞信
副委員長 泉田重章
委員 愛澤格
横山精一
渡邊文星
紺野榮重
小黒敬三
三瓶宝次

国道114号拡幅促進特別委員会

委員長 佐々木恵寿
副委員長 山本幸一郎
委員 山崎博文
若月芳則
田尻良作
鈴木辰行
佐藤文子
勝山一美
佐々木英夫
馬場績

双葉地方広域市町村圏組合 議会議員（4名選出）

吉田数博（総務）
橋爪光雄（総務）
小黒敬三（保健衛生）
佐々木英夫（消防厚生）

※双葉地方広域圏8町村の議会議員で組織し、ゴミ、し尿、消防、火葬場などの広域圏の事務に関する議決機関です。

監査委員（同意）

鈴木辰行

※町の経営に関わる事業の管理及び行政全般について監査します

農業委員会委員（1名推薦）

若月芳則

※町の農地の保全と農業振興を進める機関です。

第4回(5月)臨時会 議決の結果

発議 8	発議 7	発議 6	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	議案番号
議会報編集特別委員会設置に関する決議(案)	国道114号拡幅促進特別委員会設置に関する決議(案)	地域共生型電源開発特別委員会設置に関する決議(案)	監査委員の選任について	浪江町税特別措置条例の一部改正について	行政区長設置条例の一部改正について	専決処分の承認を求めることについて(浪江町国民健康保険条例の一部改正について)	専決処分の承認を求めることについて(浪江町税条例等の一部改正について)	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第5号))	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第3号))	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号))	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度浪江町一般会計補正予算(第8号))	件名
21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	21・5・8	議決年月日
原案可決	原案可決	原案可決	同意	原案可決	原案可決	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	摘要

議会活動の近況

2月

- 3日 総務常任委員会
議員定数調査特別委員会
全員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 第2回臨時議会
広域圏・保健衛生常任委員会
- 18日 議員定数調査特別委員会
広域圏・消防厚生常任委員会
- 20日 広域圏・総務常任委員会
- 23日 広域圏・議会運営委員会
- 25日 県議長会定期総会
- 27日 議会運営委員会
議員定数調査特別委員会
広域圏・定例議会

3月

- 5～17日 第3回定例議会
- 16日 議会報編集特別委員会
- 24日 広域圏・消防厚生常任委員会

4月

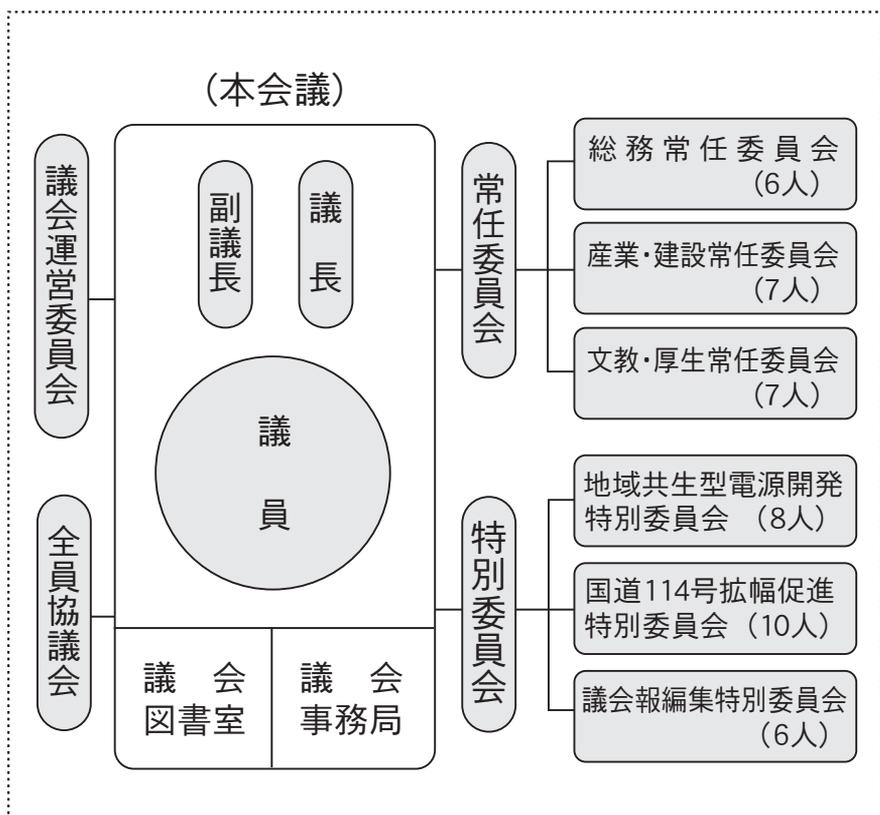
- 12日 浪江町議会議員一般選挙投票日
- 30日 任期満了

5月

- 8日 第4回(5月)臨時会(初議会)
- 12日 議会報編集特別委員会
- 18日 議会報編集特別委員会
- 19日 広域圏・保健衛生常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 議会報編集特別委員会
広域圏・消防厚生常任委員会
- 22日 広域圏・総務常任委員会
- 25日 議会報編集特別委員会
広域圏・議会運営委員会
- 26日 第5回(5月)臨時会
文教・厚生常任委員会
全員協議会
- 29日 広域圏・定例議会

議会のしくみ

議会をもっと知っていただくために、新たな特集をはじめます。今後、少しずつ議会の内容について解説していく予定です。今回は、議会の組織についてです。



◆議会とは

住民から直接選ばれた一定数の議員で構成される合議体であり、地方公共団体の意思決定機関です。

◆議会の使命は

- ・地方公共団体の具体的政策を最終的に決定すること
- ・執行機関の行財政運営の批判と監視をすること

◆議会の開催時期は

年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と随時開催される臨時会があります。

◆議員の定数と任期

地方自治法で上限が定められていますが、実際の定数はそれぞれの自治体が条例で規定しています。

浪江町の定数 20人
任期は4年(平成21年5月1日から平成25年4月30日)

◆議長及び副議長

議長は、議会の活動を主宰し、議会を代表する者で、議会構成上欠くことのできない重要な地位にあります。

副議長は、議長に事故あるとき又は欠けたときに議長の職務を行います。

次回は、委員会制度のうち、常任委員会についてお知らせする予定です。

※議会に対する疑問・質問など、どしどしお寄せ下さい。

議会 E メールアドレス
gikai@town.namie.lg.jp

電話番号 34-0254

FAX 番号 34-0264



町民の声

地域住民参加の新たな町づくりを



鴨川 俊郎 さん
(川 添)

昨今の厳しい経済状況の中にあつて、浪江町の財政難は、他の自治体と同等以上に厳しさを増してくるものと思われます。これに伴う一連の財政改革については、町長の給与カット・議員定数削減等、町長をはじめ町職員及び町議会議員の皆様には、「公僕」とあるという意識で真剣に取り組んでいただきたいと思います。さらにこの問題を別アプローチすれば、今の浪江町においては「住民参加の地域協働型社会」を、もう一度見直す形で取り組んでいくことも大事な軸であると考えます。

そこで、今実施している町民の声を聞く「町づくり意見交換会」の充実を図る

べく再考を促し、町長、各議員が先頭に立って、行政区単位の小さな集まりの中で、地域住民の賢明な意見・知恵を汲み上げて、町行政に反映していただくことを切に要望いたします。

うれしいことに、町内には各ボランティア団体が多くあり、町のために無償の支援をしていただいています。また、地域住民の皆様も、身近なごみ問題・環境美化・高齢者世帯への協力等創意工夫しています。

これらを踏まえ、各ボランティア団体を中心に、地域住民をはじめとする各行政区・町長以下町職員・各議員の皆様が連携した新たなネットワークで、浪江町を良くするのだという情熱を傾けていきたいものです。



編集後記

山々の緑の色も一段と濃くなり、野鳥の声に忙しい日々が癒される季節になりました。

4月の議会議員の改選により委員会構成が新しくなり、議会報編集特別委員会も新メンバーで2年間広報発行に努めてまいります。

情報公開を基本に、開かれた議会広報を心がけていきたいと考えております。

議会のことを、わかりやすく町民の皆様にお知らせできるよう、委員一同取り組んでいきますので、町民の皆様のご意見等どしどしお寄せいただけますよう、ご協力の程よろしくお願いいたします。
(記・佐藤文子)

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 吉田 数博 |
| 委員長 | 佐藤 文子 |
| 副委員長 | 愛藤 澤 |
| 委員 | 山崎 博 |
| | 若月 芳則 |
| | 橋爪 光雄 |
| | 小黒 敬三 |

お詫びと訂正

「2月1日発行の123号」で、次の間違いがありました。お詫びして訂正させていただきます。

14頁、「特集シリーズ」浪江町議会議員定数問題調査追跡シリーズの他町村の人口と議員数の割合(表2)の町村名で、「川俣村」を「川俣町」と訂正させていただきます。

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。